



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

6年生を送る会

3月7日(火)に、6年生を送る会を行いました。今年度も体育館に控えている6年生の所へ、各学年が順番に集まり、6年生への感謝の思いを伝えました。他の学年は、教室でリモートで参加しました。

会の冒頭、私から、「ごまっ子 八つの誓い」に書かれている姿は、今の6年生にも受け継がれていることを話しました。「ごまっ子 八つの誓い」とは、明治時代に生きた座間市の鈴木利貞さんから、皆が仲良くすることは大切なことなのだということを教わった子供たちが、遊び場であった柿の木の下で自分たちで誓いを立てた、「柿の木の下での誓い」としてまとめられたものが受け継がれてきたものです。

ごまっ子 八つの誓い

1. 毎日明るく元気にあいさつをします。
2. 家族を大切にします。
3. 友だちを大切にします。
4. 困っている人に手をさしのべ、優しく接します。
5. 人の役に立つことを進んで行います。
6. 何事にも積極的にチャレンジし、粘り強く取り組みます。
7. 約束や決まりは、いつでもしっかり守ります。
8. 自然を大切にし、地球に優しい生活をします。

平成23年 座間市教育委員会

学校生活の中で6年生が見せてくれた姿は、次年度以降も入谷小学校の中で受け継いでいかれることと思います。それは、今回

の会の中で、各学年が6年生に伝えた感謝の思いからもそのように感じます。

1年生は、「また会える日まで」を歌いました。6年生がいてくれたおかげで安心して学校に来ることができたことを伝えていました。2年生は、「こぎつね」の替え歌を歌いました。「～してくれた6年生」という言葉に合わせて両手を使って「6」を全員で表し、感謝の思いを伝えました。3年生は、「音楽のおくりもの」を歌いました。間奏部分の中で、色画用紙に書いたメッセージを見せながら思いを伝えました。4年生は、応援団扮する子供たちが、6年生にエールを送ったり、手話を使いながら、美しい声で、「ありがとのお花」を歌ったりして、6年生へ感謝の思いを届けました。5年生は、寸劇と「明日へつなぐもの」を歌いました。何十枚もの画用紙に分割して描かれた絵を皆で合わせて大きな1枚の絵が出来上がるという工夫を凝らした表現をして6年生へ感謝の思いを伝えました。

6年生からも下学年へ、心を掴むパフォーマンスと合奏のプレゼントがありました。合奏「銀河鉄道999」は、迫力があり、心に迫るものがありました。そして、合奏そのものの素晴らしさと共に、目を引いたのは、仲間と共に創り出す合奏をリズムを取りながら楽しんで演奏している姿でした。下学年の心に焼き付いたことと思います。

下学年は6年生を、6年生は下学年のことを思い活動することで、みんなの笑顔と一人一人の輝いた表情が引き出された素晴らしい時間となりました。

学校を支えてくれた6年生に感謝です。